

# HSBC ロシア オープン

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	HSBC ロシア マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にロシア連邦（「ロシア」）の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 MSC I ロシア10/40指数（円ベース）をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。	
主要運用対象	HSBC ロシア オープン	HSBC ロシア マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC ロシア マザーファンド	主に、ロシア国内の企業、ロシア経済の発展と成長に関連する、ロシア以外の国の企業が発行する株式等（ADR、GDR等を含みます。）に投資します。
組入制限	HSBC ロシア オープン	株式への実質投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC ロシア マザーファンド	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年1回の決算時（毎年3月15日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## 運用報告書（全体版）

第15期（決算日 2022年3月15日）

### ◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ロシア オープン」は、2022年3月15日に第15期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

〈お問い合わせ先（投信営業本部）〉

電話番号：03-3548-5690

（営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIロシア10/40指数 (円ベース)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金	中期騰落率	(ベンチマーク)	騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
11期(2018年3月15日)	7,375	0	13.8	8,952	10.0	99.1	—	6,789
12期(2019年3月15日)	7,333	0	△0.6	9,401	5.0	98.4	—	5,834
13期(2020年3月16日)	6,038	0	△17.7	7,793	△17.1	96.3	—	3,958
14期(2021年3月15日)	9,819	0	62.6	12,478	60.1	98.9	—	5,728
15期(2022年3月15日)	1,051	0	△89.3	0	△100.0	20.3	—	466

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。以下同じ。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCIロシア10/40指数 (円ベース)		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率		
	円	%		%	%	%
(期首) 2021年3月15日	9,819	—	12,478	—	98.9	—
3月末	9,626	△2.0	12,179	△2.4	97.8	—
4月末	9,805	△0.1	12,408	△0.6	99.7	—
5月末	10,387	5.8	13,451	7.8	100.2	—
6月末	10,833	10.3	13,897	11.4	97.9	—
7月末	10,873	10.7	13,879	11.2	97.0	—
8月末	11,005	12.1	14,061	12.7	99.9	—
9月末	11,660	18.7	14,769	18.4	97.0	—
10月末	12,697	29.3	16,215	30.0	98.2	—
11月末	11,150	13.6	14,216	13.9	97.4	—
12月末	10,996	12.0	13,963	11.9	97.6	—
2022年1月末	9,711	△1.1	12,454	△0.2	97.7	—
2月末	6,254	△36.3	8,663	△30.6	88.7	—
(期末) 2022年3月15日	1,051	△89.3	0	△100.0	20.3	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

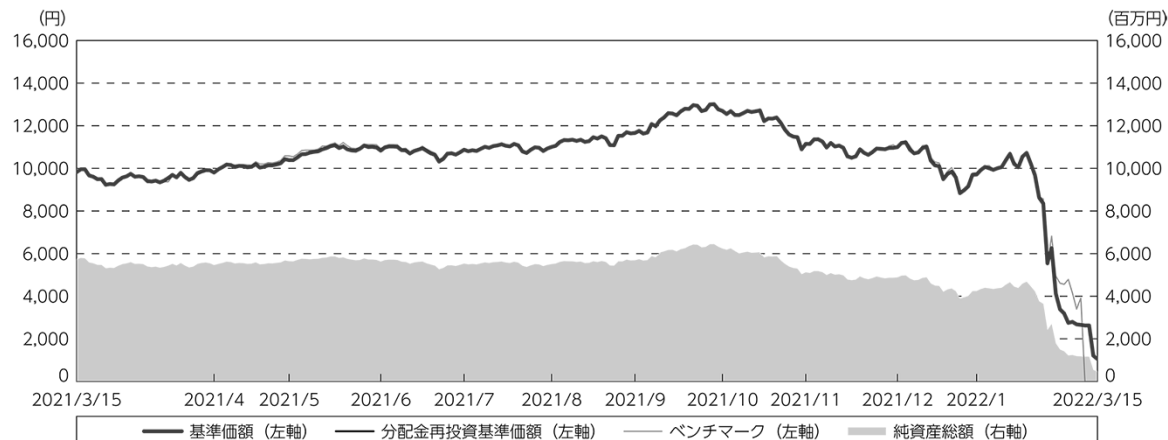
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

\*MSCIロシア10/40指数とは、ロシアの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数であるMSCIロシア指数に対し、投資信託に合わせた調整（一銘柄の構成比率の上限を10%にする、かつ5%を超える銘柄グループの合計の上限を40%にする等）を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、MSCI社（MSCI Inc.）が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託者が円換算した数値を使用しております。

## ○当期の運用状況と今後の運用方針

### 基準価額等の推移について（第15期：2021年3月16日～2022年3月15日）



期首：9,819円

期末：1,051円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 89.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2021年3月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドのベンチマークは、MSC I ロシア10/40指数（円ベース）です。

### 基準価額の主な変動要因

期初から2021年10月末にかけては、原油価格の上昇を受けて当該期間を通じて組入上位に維持したエネルギーのガスプロムおよびルクオイルなどの株価が大幅上昇し、基準価額にプラス寄与となりました。その後、11月から2022年1月末にかけては、新型コロナウイルスのオミクロン株の出現、ウクライナを巡る地政学的リスクなどを背景とした投資家心理の悪化に伴い、当該期間を通じて組入上位に維持した銀行のズベルバンク、ソフトウェア・サービスのヤンデックスなどの株価が下落し、基準価額にマイナス寄与となりました。2月以降、期末にかけては、ウクライナ情勢が緊迫化し、2月下旬に実際にロシアによるウクライナ侵攻が行われたことによりロシア株式市場は大幅に下落しました。さらにロシア株式は海外市場上場のものも含めてほぼ売買が不可能となり、それに伴い当ファンドの基準価額算出に伴う保有株式の評価方法の変更（以下参照）を行ったことなどが組入銘柄の大半の株価に大きな影響を及ぼし、基準価額の大幅下落に繋がりました。

### ～ロシア株式の時価評価方法の変更について～

ロシア株式は、2022年2月下旬までは、市場において概ね通常に取引されていました。しかし、2月28日よりロシア中央銀行が同国の国内株式の海外取引を禁止したこともあり、同日以降、ロシア株式は軒並み取引停止の状態となりました。

こうしたなか、当社では、投資信託協会の規則に従い、可能な限り直近の日の組入銘柄の最終価格を評価額として基準価額の算出を行ってきました。しかし、評価額はほとんどが更新されず、基準価額は実勢を反映しているとは言い難い状況になりました。このような状況が一定期間経過した場合は、運用会社が合理的と判断する評価額を使用可能としている同規則に鑑み、当社では3月14日算出の基準価額から、直近の基準価額算出において使用した評価値が、2月28日の基準価額算出において使用した評価値の10%未満となっているものについては、その評価値を使用し、それ以外のものについては、一律2月28日の基準価額算出において使用した評価値の10%として値付けを行いました（すべて外貨ベース\*）。さらに、3月15日算出の基準価額より、継続して取引され、実勢を反映していると思われる評価値がある一部の銘柄については、その評価値を採用し、それ以外は評価値を一律ゼロとしました（すべて外貨ベース\*）。

\*基準価額算出における為替レートに関しては通常通り算出日のレートをを用いました。

## 投資環境について

### 【株式市況】

ロシア株式市場は、期初から2021年10月下旬にかけては原油価格の高騰などが相場のけん引役となり、概ね上昇基調となりました。その後、地政学的リスクの高まりなどから株式市場は下落傾向に転じました。2022年2月中旬から下旬にかけては、地政学的緊張が著しく高まったことから、株式市場は急落しました。株式市場の急落を受けて、2月28日以降、期末にかけて、ロシア国内の株式市場は取引停止となりました。

### 【為替相場】

当期を通じてロシアルーブルは対円で32.4%下落しました。期初から2022年2月中旬にかけては、ロシアルーブルは対円で、一定範囲内で推移する展開となりました。その後、3月上旬にかけて地政学的緊張が著しく高まったことから、ロシアルーブルは対円で急落しました。期末にかけては、日米金利差の急拡大などに伴う急速な米ドル高・円安進行の流れを受けたこともあり、ロシアルーブルは対円で値を戻す動きとなりました。

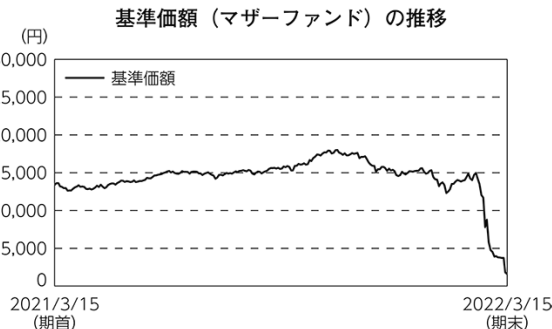
## ポートフォリオについて

### <HSBC ロシア オープン>

「HSBC ロシア マザーファンド」への投資を通じて、主にロシアの株式などに投資しました。

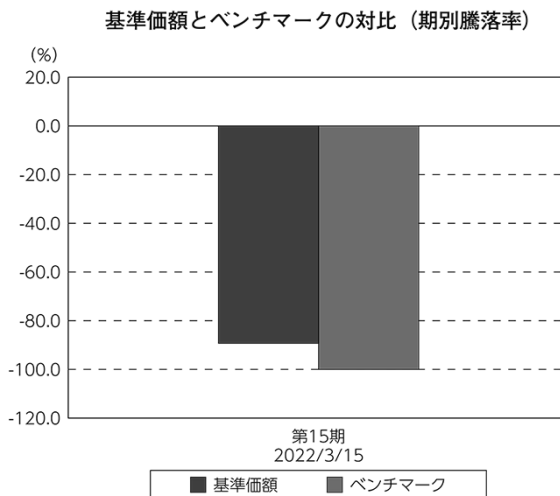
### <HSBC ロシア マザーファンド>

ロシア株式が市場において通常に取り交されていた2022年2月末までは、ロシアのエネルギー、素材、銀行、生活必需品、電気通信サービスセクターの株式を比較的高い比率で組み入れていました。但し、2月に入り、地政学的緊張が著しく高まったことに伴い、キャッシュ比率を引き上げました。2月末からは市場での取引が困難となり、保有株式の売買は行われておりません。



## ベンチマークとの差異について

当ファンドの基準価額は、分配金再投資ベースで89.3%の下落となりました。前述の「ロシア株式の時価評価方法の変更について」において記載いたしました通り、当ファンドの基準価額算出では、継続して取引され、実勢を反映していると思われる評価値がある一部の銘柄については、その評価値を採用しており、またキャッシュの保有もございますが、ベンチマークにおいてはすべての銘柄がほぼゼロと評価されているため、同期間のベンチマークの騰落率は-100.0%となっております。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 当ファンドのベンチマークは、MSC I ロシア10/40指数（円ベース）です。

## 分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向などを勘案し、分配なしとさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万円当たり、税込み）

項目	第15期
	2021年3月16日～ 2022年3月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,115

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

今後のロシアの株式市場については、現段階では見通しを予測することが困難な状況です。当面ロシア市場は混乱状態が継続するものと予想されます。

### <HSBC ロシア オープン>

引き続き「HSBC ロシア マザーファンド」への投資を行います。

### <HSBC ロシア マザーファンド>

今後、市場の再開などを受けて、適正な価格での売買が可能となり、かつ取引後の資金決済等が滞りなく行われることなどが担保される状態に戻った場合は運用が再開される可能性はありますが、現時点においてその見通しは立っておりません。当面ロシア市場は混乱状態が継続するものと予想されるなか、当社は今後も動向を注視し、当ファンドへの影響についてモニタリングを続けてまいります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年3月16日～2022年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 223	% 2.145	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(132)	(1.265)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（ 販 売 会 社 ）	( 80)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 11)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.074	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 8)	(0.074)	
(c) そ の 他 費 用	26	0.250	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 22)	(0.210)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.012)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（ そ の 他 ）	( 3)	(0.028)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付およ び届出にかかる費用等
合 計	257	2.469	
期中の平均基準価額は、10,416円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

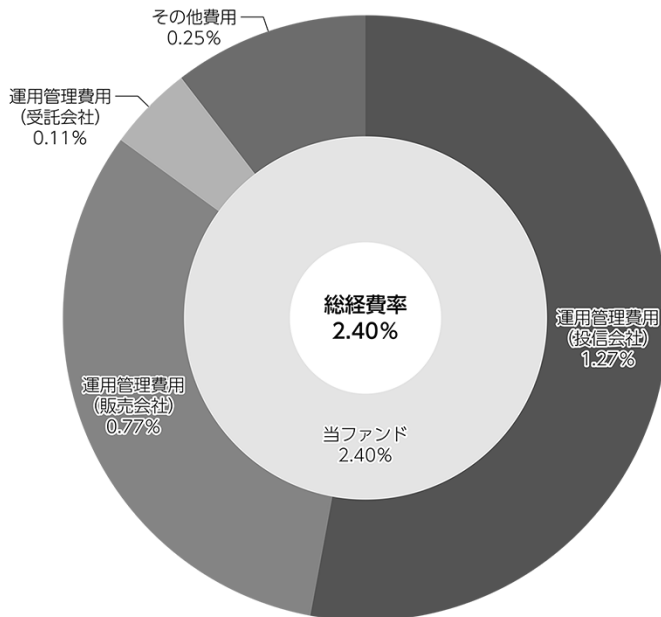
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.40%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## ○売買及び取引の状況

(2021年3月16日～2022年3月15日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
HSBC ロシア マザーファンド	千口 758,344	千円 969,152	千口 1,802,870	千円 2,651,130

(注) 単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

(2021年3月16日～2022年3月15日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	HSBC ロシア マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	6,527,657千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,067,284千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.28	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年3月16日～2022年3月15日)

### 利害関係人との取引状況

#### <HSBC ロシア オープン>

該当事項はございません。

#### <HSBC ロシア マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 3,411	百万円 —	% —	百万円 5,110	百万円 121	% 2.4

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。

## ○組入資産の明細

(2022年3月15日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
HSBC ロシア マザーファンド	千口 4,311,977	千口 3,267,451	千円 518,544

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2022年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
HSBC ロシア マザーファンド	千円 518,544	% 100.0
投資信託財産総額	518,544	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) HSBC ロシア マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(462,320千円)の投資信託財産総額(518,588千円)に対する比率は89.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=118.25円、1英ポンド=153.88円、1ルーブル=1.00円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年3月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	518,544,523
HSBC ロシア マザーファンド(評価額)	518,544,523
(B) 負債	52,326,353
未払信託報酬	51,655,937
その他未払費用	670,416
(C) 純資産総額(A - B)	466,218,170
元本	4,435,000,064
次期繰越損益金	△3,968,781,894
(D) 受益権総口数	4,435,000,064口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,051円

(注) 当ファンドの期首元本額は5,834,246,807円、期中追加設定元本額は980,619,304円、期中一部解約元本額は2,379,866,047円です。

(注) また、1口当たり純資産額は0.1051円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## ○損益の状況 (2021年3月16日～2022年3月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△3,755,328,399
売買益	336,862,702
売買損	△4,092,191,101
(B) 信託報酬等	△113,827,458
(C) 当期損益金(A + B)	△3,869,155,857
(D) 前期繰越損益金	1,088,768,307
(E) 追加信託差損益金	△1,188,394,344
(配当等相当額)	( 563,595,649)
(売買損益相当額)	(△1,751,989,993)
(F) 計(C + D + E)	△3,968,781,894
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F + G)	△3,968,781,894
追加信託差損益金	△1,188,394,344
(配当等相当額)	( 567,488,708)
(売買損益相当額)	(△1,755,883,052)
分配準備積立金	1,257,716,024
繰越損益金	△4,038,103,574

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(168,947,717円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(567,488,708円)および分配準備積立金(1,088,768,307円)より分配対象収益は1,825,204,732円(10,000口当たり4,115円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するため要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、23,445,281円です。

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。

◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。

普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。

元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの部分(特別分配金)は普通分配金となります。元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## ○お知らせ

### 商号変更について

HSBC投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「HSBCアセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ロシア株式等（ロシア企業が発行する株式（ADR（米国預託証券）、GDR（グローバル預託証券）等を含みます）及びロシア経済の発展と経済に関連する企業（ADR（米国預託証券）、GDR（グローバル預託証券）等を含みます）、以下同じ）の評価について

＜財務諸表に計上した金額の算出方法及び財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定＞

- ・2022年2月24日（現地時間）以降、ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁やロシアによる対抗措置により、2022年2月28日（現地時間）に、ロシアの証券取引所は株式取引を停止し、米国や英国等の海外市場もロシア株式等の取引を相次いで停止いたしました。
- ・また、取引の規制、決済機構やSWIFTからの除外による取引後の受渡が行えない状況となり、ロシア株式等の取引が困難な状態が継続しており、活発な市場における相場価格の取得ができない状況が続いております。よって、当ファンドが保有しているロシア株式等は、忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額によって評価しております。
- ・ロシアの証券取引所で取引されるロシア株式等について、現時点では非居住者が取引できず、流動性がない状況にあり、解消する見込みがないと仮定し、ゼロ円で評価しております。
- ・米国や英国の証券取引所で取引されるロシア株式等について、2月24日（現地時間）以降の相場価格の騰落率は上記情勢を市場リスクや流動性リスクに反映したものであると仮定し、直近の相場価格、騰落率を用いて算定した価格、または流動性がない状況であるものについてはゼロ円で評価しております。

＜翌計算期間の財務諸表に与える影響＞

当計算期間において、適切な検証を実施した上でロシア株式等を上記のように評価しております。しかしながら、ロシアの証券取引所の再開やロシア株式等の取引の再開等、今後の動向の変化によって翌計算期間の財務諸表に影響を与える可能性があります。

### 申込受付の停止について

2022年2月24日に発生したロシアのウクライナ侵攻の影響を受けて市場は閉鎖され、取引ができない状態となっております。そのため、3月1日より設定・解約の申込みの受付を停止しております。定時定額による購入（積立）についても3月9日以降受付を停止しております。今後、取引の再開等の状況の変化があれば、設定・解約の申し込み受付を再開する可能性があります。

◆親投資信託「HSBC ロシア マザーファンド」の運用状況  
第15期（2021年3月16日～2022年3月15日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にロシアの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。MSCIロシア10/40指数（円ベース）をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。
主要運用対象	主に、ロシア国内の企業、ロシア経済の発展と成長に関連する、ロシア以外の国の企業が発行する株式等（ADR、GDR等を含みます。）に投資します。
組入制限	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCIロシア10/40指数（円ベース）（ベンチマーク）		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
11期(2018年3月15日)	円	%		%	%	%	百万円
	9,437	16.1	8,952	10.0	98.0	—	6,865
12期(2019年3月15日)	9,584	1.6	9,401	5.0	97.3	—	5,897
13期(2020年3月16日)	8,097	△15.5	7,793	△17.1	94.8	—	4,023
14期(2021年3月15日)	13,411	65.6	12,478	60.1	98.0	—	5,782
15期(2022年3月15日)	1,587	△88.2	0	△100.0	18.2	—	518

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。以下同じ。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		M S C I ロ シ ア 1 0 / 4 0 指 数 ( 円 ベ ー ス ) (ベンチマーク)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2021年3月15日	円 13,411	% —	12,478	% —	% 98.0	% —
3月末	13,160	△ 1.9	12,179	△ 2.4	97.7	—
4月末	13,429	0.1	12,408	△ 0.6	99.4	—
5月末	14,250	6.3	13,451	7.8	99.7	—
6月末	14,886	11.0	13,897	11.4	97.3	—
7月末	14,967	11.6	13,879	11.2	96.2	—
8月末	15,176	13.2	14,061	12.7	98.9	—
9月末	16,101	20.1	14,769	18.4	96.9	—
10月末	17,571	31.0	16,215	30.0	98.0	—
11月末	15,468	15.3	14,216	13.9	96.9	—
12月末	15,284	14.0	13,963	11.9	96.9	—
2022年1月末	13,539	1.0	12,454	△ 0.2	96.7	—
2月末	8,785	△34.5	8,663	△ 30.6	87.0	—
(期 末) 2022年3月15日	1,587	△88.2	0	△100.0	18.2	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期の運用状況と今後の運用方針

前述の2～5ページをご覧ください。

## ○1万口当たりの費用明細

(2021年3月16日～2022年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 11 (11)	% 0.074 (0.074)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	30 (30)	0.208 (0.208)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	41	0.282	
期中の平均基準価額は、14,384円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2021年3月16日～2022年3月15日)

### 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	米国	百株 3,487	千米ドル 6,539	百株 19,292	千米ドル 23,453
	英国	695	千英ポンド 1,048	146	千英ポンド 216
	ロシア	132,480	千ルーブル 1,023,701	72,359	千ルーブル 973,365

(注) 金額は受渡し代金。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○株式売買比率

(2021年3月16日～2022年3月15日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	6,527,657千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,067,284千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.28

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2021年3月16日～2022年3月15日)

### 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 3,411	百万円 —	% —	百万円 5,110	百万円 121	% 2.4

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレーション・リミテッド（東京）です。



○組入資産の明細

(2022年3月15日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(米国)	百株	百株	千米ドル	千円		
MOBILE TELESYSTEMS PUBLIC JOINT STOCK CO	297	—	—	—	電気通信サービス	
PJSC GAZPROM (ADR)	8,023	3,502	195	23,112	エネルギー	
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR	525	343	18	2,158	食品・生活必需品小売り	
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S	124	83	5	640	エネルギー	
NLMK PJSC-GDR REG S	825	421	13	1,574	素材	
ROSNEFT OIL COMPANY PJSC-GDR	3,315	2,502	117	13,846	エネルギー	
SEVERSTAL PAO (GDR)	1,336	639	3	454	素材	
LSR GROUP PJSC-GDR REGS	7,242	—	—	—	不動産	
MAIL.RU GROUP-GDR REGS	476	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
YANDEX NV-A	368	296	—	—	ソフトウェア・サービス	
TCS GROUP HOLDING -REG S	648	259	82	9,784	銀行	
OZON HOLDINGS PLC - ADR	68	—	—	—	小売	
PJSC MMC NORILSK NICKEL-ADR	803	485	91	10,857	素材	
TATNEFT PAO-SPONSORED ADR	238	144	33	4,009	エネルギー	
LUKOIL PJSC	601	412	29	3,515	エネルギー	
小 計	株 数 ・ 金 額	24,895	9,091	591	69,953	
	銘柄 数 < 比 率 >	15	11	—	<13.5%>	
(英国)			千英ポンド			
POLYMETAL INTERNATIONAL PLC	398	948	159	24,573	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	398	948	159	24,573	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<4.7%>	
(ロシア)			千ルーブル			
SBERBANK OF RUSSIA PJSC	10,687	6,026	—	—	銀行	
PHOSAGRO PJSC	351	124	—	—	素材	
POLYUS PJSC	101	105	—	—	素材	
TATNEFT PJSC	1,606	1,632	—	—	エネルギー	
MAGNIT PJSC	139	262	—	—	食品・生活必需品小売り	
GAZPROM NEFT PJSC	1,117	2,051	—	—	エネルギー	
ROSNEFT OIL CO PJSC	—	296	—	—	エネルギー	
MAGNITOGORSK IRON & STEEL WO	15,626	—	—	—	素材	
SURGUTNEFTEGAS PJSC	—	4,330	—	—	エネルギー	
SURGUTNEFTEGAS PJSC (PFD)	9,597	9,847	—	—	エネルギー	
ALROSA PJSC	11,974	4,159	—	—	素材	
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ	2,227	2,657	—	—	各種金融	
SEGEZHA GROUP PJSC	—	73,085	—	—	素材	
YANDEX NV-A	—	178	—	—	ソフトウェア・サービス	
OZON HOLDINGS PLC - ADR	82	173	—	—	小売	
UNITED CO RUSAL INTERNATIONA	—	8,702	—	—	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額	53,511	113,632	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 >	11	15	—	<-%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	78,806	123,672	—	94,527	
	銘柄 数 < 比 率 >	27	27	—	<18.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注) —印は組入れなし。

(注) 業種等は、世界産業分類基準 (G I C S<sup>®</sup>) に基づく業種名を採用しております。

## ○投資信託財産の構成

(2022年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 94,527	% 18.2
コール・ローン等、その他	424,061	81.8
投資信託財産総額	518,588	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産(462,320千円)の投資信託財産総額(518,588千円)に対する比率は89.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=118.25円、1英ポンド=153.88円、1ルーブル=1.00円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年3月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	524,468,006 円
コール・ローン等	419,844,251
株式(評価額)	94,527,197
未収入金	10,096,558
(B) 負債	5,912,505
未払金	5,912,370
未払利息	135
(C) 純資産総額(A-B)	518,555,501
元本	3,267,451,315
次期繰越損益金	△2,748,895,814
(D) 受益権総口数	3,267,451,315口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,587円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の第6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

〈注記事項〉

※期首元本額	4,311,977,129円
期中追加設定元本額	758,344,197円
期中一部解約元本額	1,802,870,011円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額  
H S B C ロシア オープン 3,267,451,315円

## ○損益の状況 (2021年3月16日～2022年3月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	299,358,457 円
受取配当金	298,634,346
受取利息	5,798
その他収益金	739,812
支払利息	△ 21,499
(B) 有価証券売買損益	△3,870,634,539
売買益	533,231,985
売買損	△4,403,866,524
(C) 保管費用等	△ 10,831,200
(D) 当期損益金(A+B+C)	△3,582,107,282
(E) 前期繰越損益金	1,470,664,138
(F) 追加信託差損益金	210,807,969
(G) 解約差損益金	△ 848,260,639
(H) 計(D+E+F+G)	△2,748,895,814
次期繰越損益金(H)	△2,748,895,814

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

### 商号変更について

H S B C 投信株式会社は、2021年11月1日付けで、商号を「H S B C アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

ロシア株式等（ロシア企業が発行する株式（ADR（米国預託証券）、GDR（グローバル預託証券）等を含みます）及びロシア経済の発展と経済に関連する企業（ADR（米国預託証券）、GDR（グローバル預託証券）等を含みます）、以下同じ）の評価について

<財務諸表に計上した金額の算出方法及び財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定>

- ・2022年2月24日（現地時間）以降、ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁やロシアによる対抗措置により、2022年2月28日（現地時間）に、ロシアの証券取引所は株式取引を停止し、米国や英国等の海外市場もロシア株式等の取引を相次いで停止いたしました。
- ・また、取引の規制、決済機構やS W I F Tからの除外による取引後の受渡が行えない状況となり、ロシア株式等の取引が困難な状態が継続しており、活発な市場における相場価格の取得ができない状況が続いております。よって、当ファンドが保有しているロシア株式等は、忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額によって評価しております。
- ・ロシアの証券取引所で取引されるロシア株式等について、現時点では非居住者が取引できず、流動性がない状況にあり、解消する見込みがないと仮定し、ゼロ円で評価しております。
- ・米国や英国の証券取引所で取引されるロシア株式等について、2月24日（現地時間）以降の相場価格の騰落率は上記情勢を市場リスクや流動性リスクに反映したものであると仮定し、直近の相場価格、騰落率を用いて算定した価格、または流動性がない状況であるものについてはゼロ円で評価しております。

<翌計算期間の財務諸表に与える影響>

当計算期間において、適切な検証を実施した上でロシア株式等を上記のように評価しております。しかしながら、ロシアの証券取引所の再開やロシア株式等の取引の再開等、今後の動向の変化によって翌計算期間の財務諸表に影響を与える可能性があります。